

令和6年度 農作物病虫害発生予察10月月報

令和6年(2024年)11月1日
山口県病虫害防除所

I 気象概況

アメダス山口県山口地点

月・半旬	気 温 (°C)								
	平均			最 高			最 低		
	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差
10.1	21.5	20.3	1.2	26.7	25.9	0.8	17.5	15.9	1.6
10.2	21.4	19.4	2.0	25.3	25.2	0.1	18.3	14.8	3.5
10.3	20.9	18.4	2.5	26.5	24.4	2.1	15.3	13.6	1.7
10.4	22.3	17.3	5.0	27.2	23.5	3.7	18.2	12.4	5.8
10.5	18.9	16.2	2.7	23.3	22.4	0.9	14.3	11.3	3.0
10.6	15.5	15.1	0.4	23.6	21.2	2.4	9.5	10.1	△ 0.6
平均・計	20.1	17.8	2.3	25.4	23.8	1.7	15.5	13.0	2.5
月・半旬	降水量(mm)			日照時間(h)					
	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差			
	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差			
10.1	11.5	22.1	△ 10.6	23.6	25.3	△ 1.7			
10.2	29.0	16.2	12.8	18.2	26.1	△ 7.9			
10.3	6.5	14.0	△ 7.5	33.0	27.6	5.4			
10.4	72.0	15.2	56.8	23.0	28.5	△ 5.5			
10.5	34.0	15.1	18.9	10.3	28.2	△ 17.9			
10.6	0.0	15.6	△ 15.6	50.0	33.0	17.0			
平均・計	153.0	98.2	54.8	158.1	168.7	△ 10.6			

II 作物の生育状況

- (1)カンキツ : 果実肥大は、裏年傾向で着果量が少ないことから大きく推移している。温州みかんでは、糖度は平年並からやや高く、酸度は低い傾向となっている。着色は、9月以降も高温で推移していることから遅れている。
- (2)キャベツ : 定植後の高温・乾燥の影響で、全体的に生育停滞が起こったものの、気温の低下に伴い生育は回復傾向。収穫開始時期は例年並みとなる見込み。
- (3)イチゴ : 「かおり野」については、定植後の高温等の影響で、一時的に生育停滞が見られたが、気温の低下に伴い生育は回復傾向。また高温の影響で花芽分化が遅れたこともあり、本格的な出荷は例年より若干遅くなる見込み。

Ⅲ 病害虫の発生状況

1 果樹

2024年10月

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積(ha)	
カンキツ (調査ほ場数:19) 黒点病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率94.7% (平年95.3%)、発病果率29.7%(平年 44.2%)、発病度8.8(平年11.6)で平年に 比べやや少なかった。	県内全域	中	164
			少	822
			計	986
かいよう病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率15.8% (平年9.3%)、発病果率4.3%(平年 0.7%)、発病度2.1(平年0.2)で平年に比 べ多かった。	県内全域	中	55
			少	110
			計	165
ミカンハダニ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率26.3% (平年23.1%)、寄生葉率2.3%(平年 3.1%)で平年並みであった。	県内全域	中	55
			少	219
			計	274
ミカンサビダニ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率0%(平 年1.6%)、被害果率0%(平年0.0%)で平 年並みであった。	—	—	
ナシマルカイガラ ムシ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率10.5% (平年25.3%)、寄生果率0.2%(平年 1.4%)で平年に比べ少なかった。	県内全域	少	110
チャノキイロアザ ミウマ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率15.8% (平年8.3%)、被害果率0.2%(平年 0.2%)、被害度0.1(平年0.0)で平年に 比べやや多かった。	県内全域	少	164
ヤノネカイガラ ムシ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率5.3% (平年0.5%)で平年に比べ多かった。	県内全域	少	55
イセリアカイガ ラムシ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率5.3% (平年3.2%)で平年に比べやや多かつ た。	県内全域	少	55
ミカンバエ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率0%(平 年1.5%)で平年並みであった。	—	—	
果樹全般 カメムシ類(チャ バネアオカメム シ、ツヤアオカメ ムシ、クサギカメ ムシ)	9月21日～10月20日の予察灯(県内3か 所)の誘殺数は95頭(平年214頭)で平年並 みであった。主要種はツヤアオカメムシ であった。	県内全域	—	

2 野菜

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積(ha)	
キャベツ (調査ほ場数:12) 黒腐病	中旬の巡回調査では、発生ほ場率0%(平 年0.9%)、発病株率0%(平年0.0%)、発 病度0(平年0.0)で平年並みであった。 下旬の巡回調査では、発生は認められず 平年並みであった。	—	—	

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)
キャベツ べと病	中旬の巡回調査では、発生は認められず 平年並みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年0.8%)、発病株率0% (平年 0.0%)、発病度0 (平年0.0) で平年並 みであった。	—	—
萎黄病	中旬、下旬の巡回調査では、発生は認め られず平年並みであった。	—	—
ハスモンヨトウ	中旬の巡回調査では、発生ほ場率91.7% (平年56.8%)、寄生株率17.0% (平年 4.5%) で平年に比べ多かった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率100% (平年43.7%)、寄生株率27.0% (平年 2.5%) で平年に比べ多かった。	県内全域	甚 41 多 69 中 41 少 14 計 165
コナガ	中旬の巡回調査では、発生ほ場率16.7% (平年26.5%)、10株当たり虫数0.1 頭 (平年0.1頭) で平年並みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率25.0% (平年25.8%)、10株当たり虫数0.8頭 (平年0.1頭) で平年に比べやや多かっ た。	県内全域	少 41
オオタバコガ	中旬の巡回調査では、発生ほ場率8.3% (平年26.7%)、寄生株率0.2% (平年 1.4%) で平年並みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率50.0% (平年25.8%)、寄生株率2.2% (平年 0.9%) で平年に比べやや多かった。	県内全域	中 41 少 41 計 82
ウワバ類	中旬の巡回調査では、発生ほ場率33.3% (平年17.2%)、寄生株率1.3% (平年 1.0%) で平年並みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率58.3% (平年20.0%)、寄生株率4.3% (平年 0.8%) で平年に比べ多かった。	県内全域	中 96
モンシロチョウ	中旬の巡回調査では、発生ほ場率8.3% (平年11.4%)、10株当たり虫数0.0 頭 (平年0.1頭) で平年並みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率17.0% (平年9.2%)、10株当たり虫数0.0頭 (平年0.0頭) で平年に比べやや多かっ た。	県内全域	少 28
ヨトウガ	中旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平 年3.6%)、寄生株率0% (平年0.2%) で平年並みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平 年4.2%)、寄生株率0% (平年0.1%) で平年並みであった。	—	—

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)	
キャベツ シロイチモジヨトウ	中旬の巡回調査では、発生ほ場率50.0% (平年13.6%)、寄生株率6.2% (平年0.9%) で平年に比べ多かった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率83.3% (平年10.0%)、寄生株率6.8% (平年1.0%) で平年に比べ多かった。	県内全域	多	28
			中	41
			少	69
			計	138
ハイマダラノメイガ	中旬の巡回調査では、発生ほ場率16.7% (平年1.7%)、寄生株率0.5% (平年0.0%) で平年に比べ多かった。	県内全域	少	28
アブラムシ類	中旬の巡回調査では、発生ほ場率41.7% (平年37.8%)、寄生株率1.2% (平年2.7%) で平年並みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率50.0% (平年35.8%)、寄生株率2.3% (平年2.2%) で平年並みであった。 主要種はニセダイコンアブラムシであった。	県内全域	少	83
イチゴ (調査ほ場数:19) うどんこ病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年18.0%)、発病株率0% (平年4.2%)、発病葉率0% (平年2.1%) で平年に比べ少なかった。	—	—	—
炭そ病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率21.1% (平年3.0%)、発病株率0.1% (平年0.1%) で平年に比べ多かった。	県内全域	少	20
萎黄病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年7.5%)、発病株率0% (平年0.4%) で少なかった。	—	—	—
アブラムシ類	下旬の巡回調査では、発生ほ場率36.8% (平年27.0%)、寄生株率11.8% (平年4.5%) で平年に比べやや多かった。 主要種はワタアブラムシであった。	県内全域	多	5
			中	10
			少	20
			計	35
ハスモンヨトウ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率31.6% (平年13.4%)、寄生株率1.8% (平年0.5%) で平年に比べ多かった。	県内全域	中	15
			少	15
			計	30
オオタバコガ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率5.3% (平年2.5%)、寄生株率0.1% (平年0.1%) で平年に比べやや多かった。	県内全域	少	5
シロイチモジヨトウ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年0.5%)、寄生株率0% (平年0.0%) で平年並みであった。	—	—	—
ハダニ類	下旬の巡回調査では、発生ほ場率15.8% (平年22.0%)、寄生株率6.6% (平年6.6%) で平年並みであった。 主要種はナミハダニであった。	県内全域	甚	5
			少	10
			計	15

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)																		
イチゴ コナジラミ類	下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平 年13.4%)、寄生株率0% (平年1.5%) で平 年に比べ少なかった。	—	—																		
アザミウマ類 (調査ほ場数：7)	下旬の巡回調査では、発生ほ場率42.9% (平年10.9%)、寄生花率7.4% (平年 0.4%) で平年に比べ多かった。 主要種はヒラズハナアザミウマであっ た。	県内全域	甚 10 少 5 計 15																		
野菜、花き類 アブラムシ類	10月の黄色水盤トラップ (防府市牟礼) の誘殺数は253頭 (前年117頭) であっ た。	県内全域	—																		
ハスモンヨトウ	10月のフェロモントラップ (防府市牟 礼) の誘殺数は10,529頭 (前年2,998 頭) であった。 9月21日～10月20日の県内他地点のフェ ロモントラップの誘殺数は、以下のとお りであった。 フェロモントラップでの誘殺数 (頭) <table border="1"> <thead> <tr> <th>地点</th> <th>本年</th> <th>平年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>周南市熊毛</td> <td>5,302</td> <td>2,365</td> </tr> <tr> <td>山口市阿東</td> <td>1,036</td> <td>524</td> </tr> <tr> <td>萩市明木</td> <td>1,200</td> <td>171</td> </tr> <tr> <td>下関市清末</td> <td>3,145</td> <td>1,919</td> </tr> <tr> <td>柳井市伊陸</td> <td>3,725</td> <td>1,580</td> </tr> </tbody> </table> ※9月21日～10月20日の合計	地点	本年	平年	周南市熊毛	5,302	2,365	山口市阿東	1,036	524	萩市明木	1,200	171	下関市清末	3,145	1,919	柳井市伊陸	3,725	1,580	県内全域	—
地点	本年	平年																			
周南市熊毛	5,302	2,365																			
山口市阿東	1,036	524																			
萩市明木	1,200	171																			
下関市清末	3,145	1,919																			
柳井市伊陸	3,725	1,580																			
オオタバコガ	10月のフェロモントラップ (防府市牟礼) の誘殺数は570頭 (前年213頭) であっ た。	県内全域	—																		
シロイチモジヨト ウ	10月のフェロモントラップ (防府市牟礼) の誘殺数は138頭 (前年227頭) であっ た。	県内全域	—																		
コナガ	10月のフェロモントラップ (防府市牟礼) の誘殺数は7頭 (前年6頭) であった。	県内全域	—																		

お問い合わせ先

山口県農林総合技術センター (山口県病害虫防除所)

TEL (0835) 28-1211 (代)

E-mail a172011@pref.yamaguchi.lg.jp